

江戸川区 中小企業の景況

令和2年10月～令和2年12月期

調査対象 製造業 156社 小売業 72社
サービス業 55社 建設業 49社

調査方法 面接聴取法

調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会

分析作成 (株)サーベイリサーチセンター

本概要版は、令和2年12月上旬に調べた景気動向と、これから先の3か月間(令和3年1～3月期)をまとめたものです。
なお、業績等についてはDI値を中心に分析しています。

※ D. I (Diffusion Index)の略

D. I (ディーアイ)は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

	大きく上昇	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降	大きく下降
	好調 ←		普通			→ 不調	
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

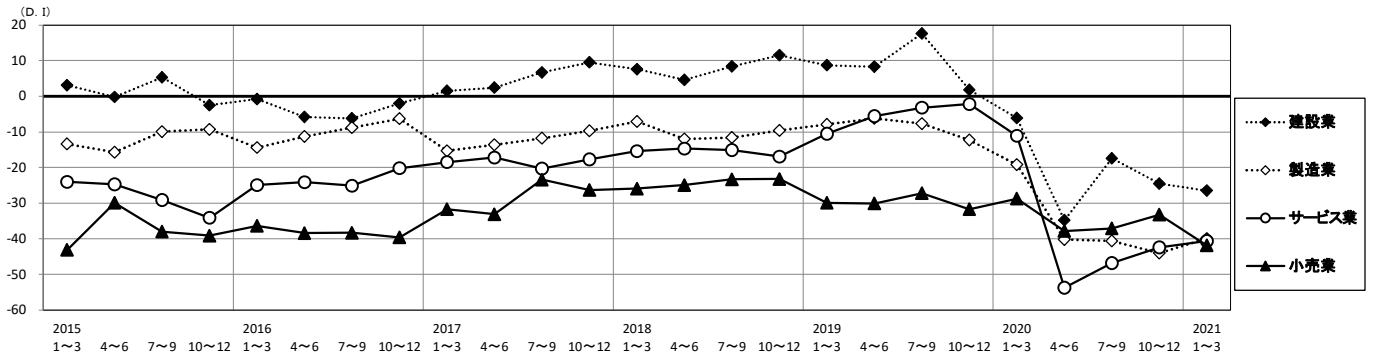
製造業	前期		-40.6	業況DI(Δ40.6→Δ44.0)は前期比3.4ポイント減少し、悪化幅がやや拡大しました。売上額(Δ41.4→Δ41.3)と収益(Δ42.5→Δ42.6)は前期並の減少・減益幅で推移しました。 来期の業況(Δ39.9)は多少改善すると見えています。売上額(Δ34.7)と収益(Δ34.7)は厳しい状況が続くものの、減少・減益幅がかなり改善すると予想しています。
	今期		-44.0	
	来期		-39.9	

小売業	前期		-37.1	業況DI(Δ37.1→Δ33.2)は悪化傾向がやや弱まりました。売上額(Δ39.9→Δ37.6)は多少改善し、収益(Δ40.2→Δ39.6)は前期並の厳しさが続きました。 来期の業況(Δ41.9)は再び悪化傾向が強まると予想しています。売上額(Δ39.8)は幾分減少傾向を強め、収益(Δ40.2)は今期並の減益傾向が続くと予想しています。
	今期		-33.2	
	来期		-41.9	

サービス業	前期		-46.8	業況DI(Δ46.8→Δ42.4)は厳しい状況が続くものの多少持ち直しました。売上額(Δ48.4→Δ50.0)は前期並の減少傾向が続き、収益(Δ46.1→Δ50.4)は減益傾向がさらに強まりました。 来期の業況(Δ40.6)は今期同様の厳しさが続くと見えますが、売上額(Δ34.7)と収益(Δ36.6)は厳しい状況ながらかなり改善すると予想しています。
	今期		-42.4	
	来期		-40.6	

建設業	前期		-17.4	業況DI(Δ17.4→Δ24.5)は再び悪化幅がかなり拡大しました。売上額(Δ21.7→Δ31.7)と収益(Δ30.0→Δ37.9)も再び減少・減益傾向がかなり強まりました。 来期の業況(Δ26.5)は厳しさが多少増すと見えています。売上額(Δ28.0)と収益(Δ35.2)は減少・減益幅が幾分縮小すると予想しています。
	今期		-24.5	
	来期		-26.5	

江戸川区の中小企業／業種別景況の推移



〔過去5年間の業況D.I.の推移〕 ※(D.I.=「増加回答値」-「減少回答値」)

	2015				2016				2017				2018				2019				2020				2021			
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
製造業	-13.4	-15.7	-9.9	-9.3	-14.4	-11.3	-8.8	-6.3	-15.3	-13.6	-11.8	-9.7	-7.1	-12.0	-11.6	-9.6	-7.9	-6.2	-7.7	-12.3	-19.2	-40.2	-40.6	-44.0	-39.9			
小売業	-43.1	-29.9	-38.0	-39.1	-36.4	-38.4	-38.3	-39.6	-31.7	-33.1	-23.4	-26.3	-25.9	-24.9	-23.3	-23.2	-29.9	-30.1	-27.2	-31.7	-28.7	-37.8	-37.1	-33.2	-41.9			
サービス業	-24.0	-24.7	-29.1	-34.1	-24.9	-24.1	-25.1	-20.2	-18.5	-17.2	-20.3	-17.7	-15.4	-14.7	-15.1	-16.9	-10.5	-5.6	-3.2	-2.2	-11.1	-53.7	-46.8	-42.4	-40.6			
建設業	3.1	-0.2	5.3	-2.5	-0.8	-5.8	-6.2	-2.0	1.5	2.4	6.7	9.5	7.6	4.6	8.4	11.5	8.7	8.3	17.6	1.8	-6.1	-34.8	-17.4	-24.5	-26.5			

経営者から寄せられた声 (2020年10~12月)

【景況全般について】

- ・10月、12月はまあまあ良かったが11月は悪かった。1月は暇になりそう。(製造業)
- ・業界全体は低迷・苦戦しているが、弊社はテレワーク需要と助成金を活用し堅調である。(卸売業、小売業)
- ・先が全然見えないコロナの影響、全くの暗闇。コロナ終わってくれることを願うばかり。(卸売業、小売業)

【受注・売上・単価・仕事量について】

- ・コロナで店舗・飲食関連及びオフィス関連の仕事が延びることがあり、中止になるなり影響は有るが一般の方は伸びている。(建設業)
- ・賑わい場所での売上げが激減。(卸売業、小売業)
- ・今年は伸びるような流れでしたが、コロナの影響で主な顧客の売上げが落ち込み、これからが心配。この流れを考えると危機感を感じる。(学術研究、専門・技術サービス業)

【経営上の課題について】

- ・まだ取引先の動向が見えず苦勞している。受注時に前受け金をいただき、材料を仕入れて製作をしている。又、雇用助成金を活用して何とか持ちこたえている。(製造業)
- ・社員の退職により人手不足となり求人募集をしているが、反応がなく、当面の課題となっている。(建設業)

【経営改善等に向けての取組み】

- ・新規物件ばかりだったが、今後はメンテナンスの分野に取り組むための勉強中。(建設業)
- ・事業の取り組みとしては、ウェブ上で面接(面談・相談)を行うなど、直接の接触を避けるよう努力しながら事業を行うよう工夫している。(学術研究、専門・技術サービス業)
- ・飲食店だが外出自粛を受けてテイクアウトも頑張っている。(飲食サービス業)

江戸川区の企業倒産動向 (2020年10~12月)

江戸川区の企業倒産動向

2020年10~12月期の江戸川区の倒産件数は、前期比25.0%増の10件(前期8件)、負債総額は前期比166.4%増の10億31百万円(前期3億87百万円)でした。

業種別にみると、件数では“小売業”が4件で最も多く、“建設業”と“宿泊業、飲食サービス業”が各2件でした。負債総額も“小売業”が8億18百万円で最も多く、次いで“建設業”が1億42百万円でした。

	(単位: 件・百万円)					
	前年同期 2019年10~12月		前期 2020年7~9月		今期 2020年10~12月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	4	80	1	10	0	0
卸売業	1	20	1	10	1	10
小売業	3	30	1	30	4	818
サービス業	1	10	1	11	1	30
建設業	3	455	0	0	2	142
不動産業	0	0	1	20	0	0
情報通信業・運輸業	0	0	0	0	0	0
宿泊業、飲食サービス業	0	0	2	250	2	31
その他	0	0	1	56	0	0
合計	12	595	8	387	10	1,031

江戸川区 生活振興部 産業振興課 計画係

TEL: 03-5662-0525(直通) FAX: 03-5662-0812